

戌亥天中殺は、六つの天中殺の星のうち、外側から見ていて一番解りにくい存在と言って良いと思います。大変にデリケートな神経を持っていながら、大らかに見えるため、甘く見て近づいて来る人が少なくありませんが、ひょっとした拍子に、その激しい内側が現われてしまうことがあります。そうした激しい内側に触れた人は、見かけとはだいぶ違うことに驚いてしまうことがよくあるのです。

この、見かけとはずいぶん違う内面を持っている戌亥天中殺の(宿命の)本質は「無から有へ」というエネルギーの働き、そして「孤独」とか「静けさ」といったものです。(「無から有」というのは、全くゼロ＝無のところから、何か自分のものをつくりだしていく力です。学者ならなにか新しいものを発明・発見した、創りあげた……というような人が多いのです。単に、アイデアが浮かぶといった程度ではなく、もっと大きな働きをしようと思っています。次に「孤独」ということですが、親・きょうだいがいないという孤独ではなく、応援がない人生を歩く、といった意味での孤独です。誰かに頼ろうとしたり、力を借りようとする、それだけ、持って生れたエネルギーは発揮されず、不満の多い人生になります。「静けさ」ですが、この戌亥天中殺は、仕事るときはどんなに忙しく、せわしくても平気です。それに充分対応できるパワーもスケールもっています。しかし、いったん、それに区切りがついたら、静かなシーンとした自分だけの時間がないとやっていけないのです。また、そういう時間をもつことが、この天中殺の運を伸ばしていくことになるのです。六中観にあります『忙中有閑(忙中閑あり)』をお忘れなく。)

また、戌亥天中殺は自分一代で新しい世界、財産を築いていく運命をもっているのです。(その意味では「子丑天中殺」の初代運とも似ていますが、本質は全く違います。)

この中殺は、六つの天中殺の星のうちでも一番心の支えが少なく、それだけに心の修練を積む必要があり、それに集中しだした人が心の高い次元を会得して宗教家とか思想家になっていきます。これらの人に戌亥天中殺生れが少なくありません。一方では、心の修練にまるで関係なく、怠け心のままに流されてしまう人もいます。その差が非常に大きいのが、この中殺の特徴です。

戌亥天中殺はどんな分野においても、自分独自の独特な世界を開く力を持っていると言っていいと思います。その意味で、ある種のカリスマ性を備えた人が少なくありません。

■申酉天中殺との人間関係

戌亥天中殺にとって、申酉天中殺というのは現実的に利益をもたらして呉れる相手です。本来「中央」欠落の戌亥天中殺は、世の中に対する現実的拡がり生まれにくいのです。そこに「西方」欠落の申酉天中殺の運気が入り込めば、「東方」という現実面での広がりをもつ事が出来るからです。

現実の利益……という事ですから、つまり、実際の商売や取引の相手が申酉天中殺だと、非常に儲けさせてくれるわけです。ただし、二人の属する分野が違う事が絶対条件です。同業種の会社だったら、互いにそっぽを向いてしまう最悪の関係になります。

会社の事業内容が違えば、戌亥天中殺の会社の製品を、申酉天中殺の会社買って呉れる、或いは売って呉れる……というような関係になって商売もうまく成立するでしょうが、同業種だと最悪な関係になります。

戌亥天中殺と申酉天中殺という組み合わせは、全く違う分野ならば、互いに認め合うし、助け合えるのです。たとえば、学者と政治家、実業家とスポーツマン……どんな組み合わせでも、分野が違えば大抵の場合うまくいきます。

同じ会社にいたとしても、片方が総務で、もう一方が営業……といった、違う分野で活躍している分には非常にうまく行く間柄です。ところが、これが同じ部署になると、とたんに張り合い、ぶつかり合うというおかしな要素があるのです。

ある会社の社長で戌亥天中殺の人がいました、A社としましょう。

A社とは取引の関係で親しくしているB社がありました。B社の社長は申酉天中殺でしたが、A社の製品をよく買ってくれたりして、両方が非常にうまくいっていたのです。

だんだん親密になって、おなじゴルフ・クラブにB社の社長が誘って、一緒に入会し、程なくしてA社の社長が自分の所属している、ライオンズ・クラブにB社の社長の入会の労をとって一緒に行動するようになったのです。しばらく経ったところ、どうでしょう、今まで親密だったのに、突然、競争心が起こって、張り合ったり、陰悪な雲行きを見せたりし始めたのです。天中殺の兼合いは例外をみせない良い例だったように思います。

ですから、戌亥天中殺なら、申酉天中殺とはビジネスだけと割り切ってつき合う方が無難だと言っていいでしょう。

同じ土俵に立ってはいけない関係なのです。ですから親子、兄弟姉妹、親戚といった範囲に、申酉天中殺の人間がいると、大変煩わしいことになります。

どちらが親でも子供でも、つねに意見の衝突の激しい関係になりかねません。

戌亥天中殺と、申酉天中殺の人というのは、どちらも内に激しい質を秘めていますから、いったん仲がこじれたら、とことん争う事になってしまいます。

同じ社長の座を争う、課長のポストを狙う、チームの四番バッターのポジションを争う……どちらかが負けるまで、徹底的に争うことになります。

同じ立場、同じ土俵に立ったとなると、いらない闘志をむき出しにして、どちらか一方が頂点に立つまで争い続けるのが戌亥天中殺と申酉天中殺の星の関係です。

ところが、恋人や夫婦の場合は、自ずと立場が違いますから問題はありません。この関係での結婚では、申酉天中殺の星のパワーを受けて、戌亥天中殺の方に現実感覚が出てくると言う、良い関係になるのです。

